

平成 27 年 9 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月の業種別景況の D I 値は、13 業種の内好転したのは 2 業種のみで 7 業種が悪化している。

しかし、業種にばらつきはあるものの受注量や売上が増加した業種もあり、まだら模様状況となっている。

依然として人材不足や人件費の負担増といった雇用環境も相俟って、製造・非製造業を問わず非常に厳しい経営状態にあり、景気の先行きは予断を許さない状況となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：32.5% DI 値：▲26.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）









前年同月比は、増加： 22.5% 減少：30.0% DI 値：▲7.5% ポイント








収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転： 13.8% 悪化：25.0% DI 値：▲11.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲57.1	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲16.6	11.1	0.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲80.0	▲22.2	▲75.0	▲8.4	▲10.0	▲28.6	▲27.6
						

全 体
▲26.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	シルバーウィークの売上は、公共交通機関、ショッピングセンター店頭ともに好調で、前年より若干売上が増加したが、原材料高もあって収益は好転していない。10月1日からの最低賃金の引き上げも厳しい。	パン・菓子製造業
	8月は対前年同月比で+3%でこれまでの月間売上を更新した。9月は9/23時点で前年同月比で+20%以上の大幅アップを予測している。シルバーウィークの大量集客が大きく寄与しているが、その前の通常期間も高水準の売上をマークしている。国交省の機関紙や内閣府の海外向け広報誌でも大きく取り上げられるなど、TV・雑誌メディアを中心とした広報PRも高水準で掲載が続いている。	水産食料品製造業 萩市
	販売量の減少が続いており厳しい上に、県内産のうにが獲れず原材料の値段が上がっているが、価格転嫁は非常に難しい。	水産食料品製造業 下関市
	長雨の影響のせい、山口県の稲作の作況指数は97となり、例年に比べ、収穫不足が懸念されている。また、TPPの交渉が大筋合意を迎えるとの報道があり、農業は更に厳しい状況になると予想される。昨今の米あまり基調の中で、米価下落に歯止めがかかるかどうかは、不透明な状況にある。今後もお米の価格動向について、注視していく必要がある。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増（新製品作り込み生産）により12月末まで受注あり。10月～12月の操業日数を6日間を増やし増産の体制をとっている。外国人技能実習生は、現在、中国人43名、ベトナム人13名の計56名。ベトナム人実習生の通訳に困っており、通訳専門スタッフの求人を募っている。また、年々実習生のレベル（技術力、語学力）が低下しており、優秀な人材の確保が難しくなっている。	下着類製造業
	現在も、真冬の商品や春物の生産には少し早い端境期のため、受注量が少ないままである。	外衣・シャツ製造業 下関市
	最賃上昇に伴う人件費のアップを加工費に転嫁できるように各社交渉をしている。	外衣・シャツ製造業 山口市
木材・木製品	新設住宅着工数は増加傾向、木材価格は僅かであるが下がっている。	製材業・木製品製造業 山口市
	新規住宅着工も少なく、全体的に低調。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	<p>9月16日に日本印刷産業連合会の「2015印刷文化典」が行われ、当組合の青年部が、「点字カレンダー」で特別賞を受賞。また、9月17日に山口県盲人福祉協会に来年の点字カレンダーを贈呈したところである。</p>	印刷 下関市
	<p>9月は、県庁の最低制限価格物件の入札が多数取れたため、一時的にはあるが収益が上向いた。このような物件が多数出ない限り、業界の景気は低下の一途をたどるであろう。</p>	印刷 山口市
窯業・土石製品	<p>前年同月比で骨材、路盤材、再生材とも全体的に出荷数量が減ってきている。</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は前月比84%、前年同月比119%。岩国地区の工事の本格化に伴う出荷量増により、県全体の出荷量が増加した。現時点、セメント・骨材等の資材調達に特に問題は生じていない。下関地区は、値上げ交渉を続けている。</p>	生コンクリート製造業
	<p>お盆・お彼岸の墓参りで修復依頼が数件入ったが、新規仕事の依頼はだんだん減ってきている。如何に自分達の組合をPRして、組合員外への仕事の流出を食い止めるかが課題。</p>	石工品製造業
一般機器	<p>9月の景況は、前月に引き続き概ね不変。鋼構造物制作会社は、下松及び宇部の大型鉄骨工事を受注。シルバーウィークを利用し組合員で、壱岐対馬の親睦旅行を実施。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査関係企業の受注状況に陰りがみられ、外国人実習生の受け入れ中止の企業が出てきており、長期か短期かの見極めが大事な時である。その他企業は相変わらず。食品加工、スーパー等に加え農業、食肉加工業、溶接関係、惣菜業者も人手不足で、外国人技能実習生を増員する相談がある。又、制度改正により介護の受け入れが可能になるとの情報で、介護施設からの問い合わせも増えている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>前年同月比で売上高は微増している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>9月の金型の設備操業度は、7～8月受注分がずれ込んだのも要因の1つだが、8月とほぼ同等で、下期前半の予算はほぼクリア出来た模様。顧客の都合もあるが、10月以降の商談も多く、受注を目指しているところである。10～11月半ばまでの受注で短納期対応が下期予算をクリアするため不可欠だが、出荷分の検収が遅れており10月の検収となる模様。金型の価格は、競合が多く低価格で大変厳しい現状。ここ2～3年は特殊金型が多く成形機との抱き合わせ受注も有り、類似多品種対応での継続受注が出来ている。成形製品の設備稼働率は上昇傾向</p>	特殊産業用機械製造業

	にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）の受注量の変動が激しく、先が読みにくい状況にある。	
輸送機器	鉄道車両部門の作業高は上向いているが、精密加工部門の落ち込みが大きく、全体としては前年度を下回っており、当分の間この状況が続くそうである。	鉄道車両・同部品製造業
	人材不足が解消されない。	船舶製造・修理業
卸売業	9月に入り急に涼しく秋の期間が短くなり、秋の食品・食材の品揃えに苦慮している。	各種商品卸売業
	近年は温暖化などの複数の要因から「イリコ」、「カキ類」などが不作となっており、倉庫の入庫に影響が出ている。9月になって急に「イリコ」が獲れなくなり、値段が高い状況が続いている。	乾物卸売業
	相変わらず魚の入荷が少ない。昨年と比べてもかなり減っている。魚が獲れないので漁師も減っている。また、“ふく”についても養殖物の在庫が無くなった状態で価格が高く、年末に向け厳しい状況が予測される。	生鮮・魚介卸売業
小売業	メーカーより人や物の支援が多い店は売上げを伸ばしているが、支援の少ない店は売上が前年割れでかなり厳しい状況となっている。売上の良し悪しはメーカーに依るところが大きく、コマーシャルの影響も大きいと思われる。	化粧品小売業
	「中央フード」が9月末に閉店し、跡地にディスカウントの薬局が進出とのうわさがあり、現実となると小売業の多い地元組合員には打撃となりそう。飲食店などサービス業はお客も多く、堅調に推移している。地区内の中小企業者の倒産情報が少ないため景気良好に見えるが、小規模企業は何とか事業継続している状況。求人倍率が上昇しているが、雇用のミスマッチは依然継続中で、特に建設・警備・介護・飲食業が人手不足である。	各種商品小売業 岩国市
	昨年より休日が1日多い分売上高もプラスとなっている。中心商店街での売上は前年同月比でマイナスとなっているが、「ゆめタウン」の増床の影響はまだ不明だが、少なからずあると考えられる。	各種商品小売業 山口市
	先月と同様で、酒のディスカウント店の出店に伴い売上、客数とも前年を上回っているが、既存店では、前年を下回っている。	各種商品小売業 長門市
商店街	シルバーウィークがあるので来街者数の増加を見込んだが、月後半は減少し、郊外店のリニューアルオープンもあり苦戦をした。個店の戦略で、売上・収益ともに前年より大幅に伸ばした店舗もあり、“個店の力”が最終的に商店街全体を強くする。	山口市

	9月については明るい兆しは見えない。涼しくなるので衣料品の売上や「花燃ゆ」、「世界遺産」の効果で商店街に観光客の多少の流れを期待していたが、アーケードに観光客らしき人は見えない。10月には“萩焼まつり”があるので、各店趣向を凝らし準備をしている。	萩市
サービス業	美容室に来るお客様の会話では、「近くのお祭りやイベントに参加した、美味しいものを食べた」という話は出るが、主婦の財布は固くなっている。結婚式等の出席にしても、当日美容室で髪をセットせずに、自分でセットして済ませているようで、“装い”をすることがなくなっている。昔からの行事、催事も簡素化され、これがあるから営業収入アップといったことは、年間を通じてなくなり、営業は可もなく不可もなく変化もない。	美容業
	理容業界も依然として厳しい環境のもと、内閣府の規制改革会議で検討されている理容美容に係る規制の見直しについて、理容業界（美容）も答申内容等見据えた今後のあり方について議論を深めていく必要がある。	理容業
	9月以降の乗用車の初回車検台数の減少が心配されている。これは3年前の2012年9月にエコカー補助金が終了したとのことでその後約1年間は新車販売が大幅に減少したことが原因となっている。今後、車検獲得競争が激しくなることが予想される。	自動車整備業 山口市
	車体整備が高度化し車体整備士の再教育が必要で、安心・安全な整備には設備投資が前提となるが、投資が出来ない事業所も配慮した対応策が必要となる。台風の影響もあるのか、前年度に比べ入庫数は増えており、人材も不足しており多忙である。	自動車整備業 山口市
	下関市内でもエリア別人口の増減により店舗の業績に違いがある。	スポーツ・健康教授業
	シルバーウィークが、宿泊人員及び売上増加に大きく寄与し、前年同月比で110%となった。	旅館業 山口市
	全体的にシルバーウィークの影響は大きく、売上高、収益ともに前年同月以上の好転があった様に思われる。但し、長期滞在客が減少している施設もあり、引き続き油断できない状況ではある。雇用人員は、充足している所と不足している所がある。	旅館業 下関市
	売上高は前年同月比で変わらず。収益は若干好転。消費税負担の増加により資金繰りの余裕がない。利用者については減少傾向が続いている。飲食・売店等の部門改善が必要である。	旅館業 長門市

	<p>8月と業況に大差は無い。シルバーウィークも大手には良かった模様であるが、零細企業では、期待した程の影響はなかった。台風の影響で売上が上がらなかったが、一方、良い影響でマツタケの豊作が予想されており、食欲の秋に期待を寄せている。花燃ゆのブームも、ドラマの舞台が山口県を離れたので、防府に戻る年末まで待つほかはない。大都市における中国人の爆買いも大型客船の入港する下関、萩で一部見られたが、食事と呼び込むまでには至っていない模様。TPPも食材費の値下げにつながると希望に見えるが、現在の明るい話は燃料費が抑えられていることだけである。組合設立50周年記念「大抽選会」事業は順調に進行し、3万枚の抽選券が販売でき、11月5日に抽選会を行う。自力によるイベントで客足に弾みが付ければと思っている。</p>	飲食業
	<p>高温の天気が続き、家庭洗濯できる衣類で過ごす消費者が多いため、この時期はクリーニング業界全体で閑散期である。集荷が少ないため、一点あたりのコストがかかり、収益が見込めない状況である。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>山口支部の中電への工事申請は8月151件、前年同月244件。太陽光発電への申請23件、オール電化申請45件（前年は太陽光38件、オール電化44件）、LED街路灯への切替・新設申請は34件（前年は44件）であった。</p>	電気工事業
	<p>2年前からの受注単価の上昇で決算の好転している事業所が多いと推測されるが、当座の工事量は減少している。労働条件の良い業界に高校新卒者が求職している。</p>	左官業
	<p>従業員12名程度の土木建設業者が工業系の高校に就職の斡旋を依頼したが、高校の先生も従来からの実績・継続性を重視するのか全然本気で考えて貰えないため、高校生のインターンシップの受入れに参加するとの事。建設業の若者・女性の確保は冬の時期を脱していない。建設業のイメージチェンジを本気で考えないといけない。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>27年9月の受注高は対前年同月比114%。今年度の累計は対前年比28%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>順調に発注がなされ、売上、収益は上がっている。管材は1円ぐらいの値上がりで安定している。発注価格は受注競争が激しいので低下している。十分な仕事量を抱えている企業がほとんどであるが、中にはなかなか落札出来ない企業もある。</p>	管工事業

運輸業	<p>輸送は月初めに横ばいで推移したが、シルバーウィーク前後は長距離輸送車両が不足し、連休中は長・中距離輸送に一層車両不足となった。国内輸送は伸びているが、輸出は横ばい。依然、長距離ドライバー不足が解消されていない。燃料費は3.7円の値下がりだが、運賃は据え置きで、人件費は賃上げとなり、燃料費の値下げの効果はあまり見られない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>前年同月比で、自動車部品は横ばい、タイヤは増加、全体的には順調に推移している。燃料価格も低価格で推移している。台風被害が結構あり、多額の損金を計上した。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>9月はシルバーウィークの関係で稼働日数が少なく売上も相対的に少ないが、食品関係の輸送は安定しているようである。倉庫関係においては季節物（例えば肥料等）の保管案件が増えてきているようである。燃料価格が下げ止まりしており、収益に良い影響をもたらしている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>9月はシルバーウィークがあり仕事の予定に狂いが生じたが、致し方ないと思う。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲8.0%（平成27年8月1日～平成27年9月20日分）。8月1日～31日分は▲10.8%、9月1日～20日分は▲3.6%。7月中旬から減少し、9月になって少し回復したが、8月は大幅な減少。基本的に経済が回復状態でない事を表していると思われる。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市だが、8月分は、防府市地区が▲18%、周南▲8%、下松▲13%、光▲18%と防府，光地区が特に減少している。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替は円安だが、ブタン，プロパンのCPは前月分よりもさらに下がり（前年793\$/トンが今年373\$/トン）、購入単価は先月よりも安くなった。前年度が高騰していたので、前年9月分に比べ26%安価になっている。車両代や整備費用が上昇している中、燃料費が下がるのは大いに助かっている。7月中旬から売上の減少が続いており、平成24年6月のような大幅減少の再来が大いに懸念される。売上の減少に比例して乗務員の収入も減少し、乗務員確保が大変難しい状況が続いており、稼働台数も減少している。また、中国経済の低迷など、大手輸出産業にも陰りが見え始め、国内の個人消費は改善されないまま再びデフレスパイラルの状況に陥る事も懸念されており、年金の実質減額や消費税増税など、低所得者の負担が多くなる事ばかりで、個人消費はます</p>	一般旅客自動車運送業

	ます減少し、地方の経済はますます厳しい状況になるように思われる。	
	今月は石灰関係の荷役取扱高の減少により、売上高の減少となった。	港湾運送業